

令和5年度全国学力・学習状況調査の中学校英語「話すこと」調査の
オンライン実施に向けた事前検証②
実施要領

1 実施の趣旨

令和5年度全国学力・学習状況調査において、中学校英語「話すこと」調査（以下「話すこと」調査という。）をオンライン方式で実施するに当たって、検証用のプログラムを用いて、問題の閲覧、解答の録音、録音されたデータのアップロードが正常に完了できるかなど ICT 環境・端末操作の確認を行うもの。また、「話すこと」調査を円滑かつ着実に実施する観点からは、「話すこと」調査の調査日と同様の学年や学級を分割した上での実施の流れ等についても、この事前検証②において試行・確認しておくことが推奨される。

2 実施対象

「話すこと」調査に参加する全ての中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部

3 実施期間・実施日

令和5年2月6日（月）から令和5年3月6日（月）まで

また、令和5年3月7日（火）から令和5年3月24日（金）までを予備期間とする。

(1) 当日実施校の実施日

令和5年2月17日（金）午後実施することとする。ただし、やむを得ない事情により実施日に実施することが不可能となった場合は、令和5年度全国学力・学習状況調査の中学校事業委託事業者（以下「委託事業者」という。）の設置するコールセンター（以下「中学校調査コールセンター」という。）に連絡し、日程を再調整の上、予備期間を含めた実施期間内で実施することができる。

(2) 当日実施校以外の学校の実施日

4（1）のとおり実施する場合は、各学校の希望をもとにネットワーク環境等を考慮して委託事業者が決定する日（以下「指定日」という。）に実施する（1月中旬頃に指定日を連絡予定）。ただし、やむを得ない事情により指定日に実施することが不可能となった場合は、中学校調査コールセンターに連絡し、日程を再調整の上、予備期間を含めた実施期間内に実施することができる。

4（2）のとおり実施する場合は、令和5年2月6日（月）から3月6日（月）までの間の任意の日実施することができる。ただし、やむを得ない事情により上記期間内に実施することが不可能となった場合は、中学校調査コールセンターに連絡し、予備期間に実施することができる。

4 実施内容

本検証は、各学校が、その実情に応じて、対象生徒全員が実施するか又は職員が実施するかを決定し実施する。ただし、上記の実施の趣旨に鑑み、可能な範囲において対象生徒全員で実施することを推奨する。

特に、「令和5年度全国学力・学習状況調査の中学校英語「話すこと」調査における当日実施校の決定について」（令和4年11月18日付け事務連絡）で当日実施校として決定された学校については、対象生徒全員が実施することとする。

(1) 対象生徒全員が実施する場合

ア 実施者

「話すこと」調査の対象となる生徒全員
(令和5年2月現在において中学第2学年の生徒)

イ 実施内容

別途お示しする事前検証②の実施マニュアル（1月下旬に Web システムにて公開予定。以下「実施マニュアル」という。）に基づき、「話すこと」調査の調査日と同様に分散実施の計画を立て、検証用のプログラムを用いて問題の閲覧、解答の録音、録音されたデータのアップロードが正常に完了できるか確認する。

ウ 所要時間

「話すこと」調査の調査日と同様に、1学級を3グループに分割し実施することを基本とする。1グループの所要時間は、問題実施時間が5分程度、準備や移動に要する時間を合わせて15分程度となり、3グループ全体で概ね1単位時間で実施することになる。

(2) 職員が実施する場合

ア 実施者

担当職員数名程度

イ 実施内容

事前検証②の実施マニュアルに基づき、生徒が使用するものと同じ端末、同じネットワーク環境で、検証用のプログラムを用いて問題の閲覧、解答の録音、録音されたデータのアップロードが正常に完了できるか確認する。

ウ 所要時間

15分程度

5 教育課程上の位置付け

本事前検証の教育課程上の位置付けについては、4(1)の場合において、教育委員会及び学校の判断により、外国語の授業時数の一部(0.3単位時間相当)として取り扱うことを可能とする。

6 文部科学省への報告

(1) 当日実施校については、実施マニュアルに基づき、実施状況を報告すること。

- (2) 当日実施校以外の学校については、実施マニュアルに基づき、事前検証②においてネットワークや端末のトラブルが発生した場合のみ実施状況を報告すること。

7 事前準備

実施の詳細については実施マニュアルで示すが、以下の事項については、あらかじめ準備しておくことが望ましい。

(1) 学年・学級の分割に関する検討

- ア 参考資料 1 を参照して、「話すこと」調査を実施するに当たって、学年・学級をどのように分割して実施するかを検討する。
- イ 分割数に応じて参考資料 2 を参照して、実施に当たって使用する待機室を想定する等具体的な実施方法を検討する。
- ウ ア及びイにより検討した実施方法で、生徒全員が「話すこと」調査の調査日と同様の方法で事前検証②を実施することが推奨されるが、それが難しい場合においては、参考資料 4 の FAQ を参考にしながら、学校の実情に応じて実施して差し支えない。

(2) 使用する機器における準備

- ア 各生徒の端末からそれぞれのアカウントで学習 e ポータル標準モデル準拠ソフト（以下「学習 e ポータル」という。）にログインできるよう、学習 e ポータル事業者からアカウントが発行され、設置管理者から各学校にアカウントが配布され次第、各生徒にアカウントを配布しておく。
- イ 職員が生徒の端末（予備機）を用いて、生徒用のネットワークを通じて学習 e ポータル及び MEXCBT に接続できるか改めて確認する。
- ウ MEXCBT はブラウザ上で動作するシステムであるが、対応するブラウザは「Microsoft Edge」「Apple Safari」「Google Chrome」の最新版である。各端末でこれらのいずれかを用いるとともに、最新版のブラウザになっていることを確認する。特に「Apple Safari」については、iPadOS をアップデートすることで最新化できるが、iPadOS はバージョン 15 以上でないと、英語「話すこと」調査における録音機能が使えないことに注意すること。生徒の端末が iPad で iPadOS のアップデートの実施が困難である場合は、コンピュータ室での実施等も検討すること。
- エ その他、端末におけるトラブルを防止するため、参考資料 3 も参照し、事前の確認を行うこと。

8 その他

- (1) 事前検証②においては、障害のある生徒等に対する特別な配慮として、それぞれの障害等に応じたプログラムを可能な限り作成する予定である。該当する生徒が在籍する学校においては、実施マニュアルの記載に基づき、当該プログラムにより事前検証②を実施することが望ましい。
- (2) 本事前検証において支障が生じ、実施マニュアルや MEXCBT 運用支援サイトを参照

しても解決できない場合は、当該支障の内容に応じて、以下の連絡先に問い合わせること。

- (3) 事前検証②において、ネットワークや端末にトラブルが生じたときは、実施マニュアル及び参考資料3を参照すること。
- (4) 事前検証②の実施に当たっては、学校設置者において特に技術面で十分な学校支援体制を構築すること。

支障発生時の連絡先等

【本検証の実施、英語「話すこと」調査に関すること】

例：実施日程を変更したい。

事前検証②用の問題がどれか分からない。

実施要領や関連資料の内容について聞きたい。

○中学校調査コールセンター

電話：03-5249-3331（受付時間 平日 9時～18時）

【学習 e ポータルに関すること】

例：学習 e ポータルのアカウントが届かない。

学習 e ポータルのログイン URL がわからない。

学習 e ポータルにログインしようとするエラーになる。

学習 e ポータルからの問題の検索・配信・解答操作がわからない。

○各設置管理者が契約する学習 e ポータルの運営主体

※問い合わせ先一覧：

<https://support2.mexcbt.mext.go.jp/contact/>

※運用マニュアル一覧：

<https://support2.mexcbt.mext.go.jp/manual/>

【MEXCBT に関すること】

例：MEXCBT の利用申し込み方法や変更方法が分からない。

調査問題を検索しようとする際、または配信された問題を開こうとする際に接続エラーになる。（フィルタリング等、自治体の設定による場合は教育委員会にて対応）

○MEXCBT 運用支援サイト

<https://support2.mexcbt.mext.go.jp/>

○オンライン学習システム推進コンソーシアム

(事務局：株式会社内田洋行 教育総合研究所)

電子メール：mexcbt-info@uchida.co.jp

電話：03-3231-1720 MEXCBT コールセンター (受付時間 平日 9時～17時)